

## 令和6年8月定例教育委員会会議録

1. 日 時 令和6年8月13日（火）午後2時35分～午後4時25分
2. 場 所 岸和田市役所新館4階 第1委員会室
3. 出席者  
教育長 大下 達哉      委 員 谷口   馨      委 員 野口 和江  
委 員 和田 郁美
4. 事務局出席者  
教育次長兼教育総務部長 藤浪 秀樹／学校教育部長 長岡 英晃  
生涯学習部長 池内 正彰／総務課長 柿花 真紀子  
学校適正配置推進課長 西河 鉄二／学校給食課長 寺埜 朗  
学校管理課長 松下 英俊／産業高校学務課長 橋本 純／学校教育課長 松本 秀規  
人権教育課長 松本 真里／生涯学習課長 井出 英明  
スポーツ振興課長 河内 みどり／郷土文化課長 井上 慎二／図書館長 宇野 義文  
総務課主幹 二宮 明生

開会 午後2時30分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に谷口委員を指名した。  
傍聴人0名。

### ○大下教育長

ただいまから、8月定例教育委員会会議を開催します。

報告に入る前に、非公開の決定ですが、本日の案件のうち、議案第37号は本日協議した後、政策調整会議を経て、政策決定会議で決定するものであり、意思決定過程段階にあることから「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項の規定により非公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(教育委員、賛同)

非公開への賛同がございましたので、そのように取り扱います。

### 報告第51号 学校給食費の無償化について

#### ○大下教育長

報告第51号について、説明をお願いします。

#### ○寺埜学校給食課長

報告第51号につきましては、学校給食費の無償化についてです。

歳入予算の補正を 今回の定例会に企画課から提案することから、学校給食課としての議案ではなく、報告という形にさせていただきます。

内容は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などを活用し、市立小中学校の児童生徒の給食費を無償化するものです。期間については、令和7年1月から3月までとなります。

事業効果は、学校給食費を無償化することで、急激な物価高騰による児童生徒の保護者の経済的負担を軽減しようとするものです。

対象者は、市立小中学校児童生徒の保護者と天神山幼稚園で小学校給食を喫食する園児の保護者となります。

補正内容は、歳入予算1億2,545万円の減額となります。本来、保護者から頂く学校給食費を減額し、その減額分を、臨時交付金で8,000万円と、その他財源から4,545万円を充当するものです。

無償化に伴い、すでに制定している「岸和田市学校給食費等の管理に関する規則」について、別に規則の特例を制定する必要がありますので、関係課と協議し、その手続きを行ってまいります。報告は以上です。

**○大下教育長**

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

**○野口委員**

その他の財源というのは、市の財源なのでしょうか。

**○寺埜学校給食課長**

財源の内訳はまだわかりません。

**○和田委員**

物価高騰による家計へのダメージは大きいので、給食費が無償化になるのは助かります。今年度における負担軽減になるのでしょうか。

**○寺埜学校給食課長**

今年度の3学期分となります。

**○和田委員**

来年4月以降も無償化は延長されるのでしょうか。

**○寺埜学校給食課長**

4月以降は未定です。

**○大下教育長**

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

**報告第52号 第78回大阪府総合体育大会・泉南地区大会成績及び中央大会出場について**

**○大下教育長**

報告第52号について、説明をお願いします。

**○河内スポーツ振興課長**

報告第52号につきましては、第78回大阪府総合体育大会・泉南地区大会成績及び中央大会出場についてです。

別紙1は泉南地区大会結果の資料です。

バレーボールの一般男子及び一般女子の網掛け部分につきましては、中央大会出場資格はありますが、本年度は中央大会がないため出場なしというものです。

バレーボールの一般女子2などのように、アンダーラインを引いているものは中央大会に出場が決まったものです。

別紙2は、中央大会の種別や日程に関する資料です。右端の欄、泉南地区代表として、地区大会で2位以上になった市町です。

こちらにつきましても、網掛け部分につきましては、中央大会出場資格はありますが、本年度は中央大会がないため出場なしというものです。

中ほどの軟式野球の泉南市のように、点になっている部分は、中央大会に出場できるのは地区で1枠のため、2位であっても出場できないという状況です。

1枚目に戻りますが、今年度、本市は11種目に出場するほか、担当市であることから、男女ともバスケットボールに出場することとなっています。報告は以上です。

#### ○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

#### ○野口委員

昨年お伺いしましたが、岸和田市で一般の部で盛んな競技は卓球と聞きましたが、今も卓球が盛んなのでしょうか。また、岸和田市から出場されているチームは、例えばバレーボールであれば、ひとつのチームが勝ち抜いて代表で出場されるのでしょうか。

#### ○河内スポーツ振興課長

本市は以前より卓球が盛んです。先日も、小学生の児童が全国大会に出場される報告を頂いたところです。各種競技の大会への出場チームにつきましては、各競技連盟が決定しているため、競技種目により、市民大会の優勝チームの場合と選抜チームの場合がございます。

#### ○大下教育長

出場種目が減っていますが、競技そのものの開催種目や種別自体が減っているのか、中央大会に出場するチームが減っているのかおわかりでしょうか。

#### ○河内スポーツ振興課長

今年度の出場種目は6種目で減っています。12種目29種別のままですので、泉南地区代表としての本市の出場チームが少なくなっている傾向です。

#### ○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

### 報告第53号 岸和田城天守閣の展示について

#### ○大下教育長

報告第53号について、説明をお願いします。

#### ○井上郷土文化課長

報告第53号につきましては、岸和田城天守閣の展示についてです。

9月12日木曜日から11月17日日曜日まで、岸和田城天守閣の2階展示室で、「久米田寺と称名寺、僧侶が結んだふたつの寺」を開催します。

主な展示資料として、別紙に称名寺絵図と北条実時像の写真を載せています。

称名寺、北条実時と金沢文庫の関係ですが、北条実時は金沢北条氏の祖で、称名寺を整備した人物です。実時は好学の士として知られ、日本だけでなく中国の書物も収集し、鎌倉時代の中ごろに金沢の邸宅内に武家の文庫である金沢文庫を造りました。実時の後も収集の方針は受け継がれ、金沢北条氏のプライベートライブラリーである金沢文庫の蔵書の充実がはかられました。金沢北条氏は鎌倉幕府滅亡と運命をともにしましたが、以後、文庫は隣接する菩提寺の称名寺によって管理され現代に至っています。現在の金沢文庫は昭和5年に神奈川県施設として復興したもので、平成2年から装いも新たに中世の歴史博物館として活動を行っています。

次に、久米田寺と称名寺の関係と今回の企画展開催のきっかけですが、称名寺の第三代長老の本如房湛睿が教学の研鑽を深めたのは久米田寺でした。湛睿とその周辺の僧侶が久米田寺で活動したことから、称名寺にも久米田寺に関する史料が多数伝来しており、現在金沢文庫が管理する国宝の一角を占めています。久米田寺と称名寺という遠く離れた両寺院ですが、中世には密接な僧侶の交流があり、互いの歴史や教学研究の面で深い関係にあったことから、金沢文庫が「久米田寺展」を開催するにあたり、本市と相互協力し同時期に類似の内容を企画することとしたものです。周知方法は、広報きしわだ9月号、ホームページやポスター等によって行います。報告は以上です。

#### ○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

岸和田の久米田寺に関連する資料について、称名寺保管の資料以外に、久米田寺が所蔵する資料も展示されるのでしょうか。

#### ○井上郷土文化課長

久米田寺で所蔵する様々な資料も金沢文庫で展示される予定です。

#### ○谷口委員

久米田寺と金沢文庫とが関連があったことに驚きました。身近な寺なのに、気づいておりませんでした。岸和田市民の誇りとして久米田寺の魅力の発信について工夫をしていただきたいと思います。

#### ○井上郷土文化課長

今回の展示で久米田寺の周知を広く行っていきたくと思いますし、金沢文庫側でも岸和田市での久米田寺展の周知も行っていただけます。

#### ○大下教育長

企画展のきっかけは何だったのでしょうか

#### ○井上郷土文化課長

金沢文庫側から久米田寺展を実施したいとのお話があり、それに合わせて本市も展示を企画したものです。

#### ○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

### 報告第54号 第36回濱田青陵賞授賞式及び記念シンポジウムの開催について

#### ○大下教育長

報告第54号について、説明をお願いします。

## ○井上郷土文化課長

報告第54号につきましては、第36回濱田青陵賞授賞式及び記念シンポジウムの開催についてです。

7月に報告させていただいた濱田青陵賞の式典のご案内です。

日時は、令和6年9月22日日曜日、午後1時からです。会場は岸和田市立文化会館ホール（マドカホール）です。

授賞式・記念講演ですが、受賞者は7月にご報告させていただきましたが、東京大学大学院人文社会系研究科 准教授 森先一貴（もりさきかずき）氏であり、まず岸和田市長から表彰をしていただき、その後、まだ仮題ですが「日本旧石器時代の体系的研究」をテーマに記念講演をしていただきます。

記念講演の後、朝日新聞編集委員の司会による記念シンポジウムを行います。テーマは仮題ですが、「日本人はどこから来たか」です。

日本の旧石器時代研究は、あの有名な「旧石器捏造事件」で壊滅的な状態となった後、その信頼を回復するべく、第三者の検証性、再現性を担保した上で、研究の精度を高め、理化学、人類学等の関係領域の成果を取り入れ、人文科学としての旧石器時代研究法を再構築しました。受賞者はその先端をいく研究者です。旧石器時代と言えば、小さな石器を研究しているように思えますが、その石器の地域差や分布のありかたを通じ、人類、特に日本列島へ人がどこから来たのかを研究しています。今回、関連諸科学の研究者と共に、改めて旧石器時代研究を通じ、日本人のルーツを探ります。

パネリストの選定にあたっては、受賞者・当市担当・朝日新聞社で協議し、考古学、人類学で関連した研究をされている方を選出いたしました。

周知方法は、広報きしわだ9月号、市HP、朝日新聞に掲載します。

参加方法ですが、申し込み不要で実施いたします。また、来られない方々のため昨年度と同様、濱田青陵賞運営協議会 YouTube チャンネル、テレビ岸和田ウェブサイトでの当日生配信を行います。報告は以上です。

## ○大下教育長

報告が終わりました。既に新聞報道もされていましたが、本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

## ○谷口委員

例年、朝日新聞は積極的に記事を掲載してくれていますが、他の新聞社の報道の状況はいかがでしょうか。

## ○井上郷土文化課長

朝日新聞社とは共催しております。広報広聴課から報道発表はしていますが、他の新聞社での掲載には至っていない状況です。今回の受賞者が京都出身であるため京都新聞に情報提供したところ、記事が掲載されることになりました。

## ○野口委員

旧石器に関する捏造事件の際には教科書にも影響があり、日本の考古学の信頼が大きく損なわれてしまいましたが、日本の考古学が復活の道筋をたどり、濱田青陵賞において受賞者が出たことは、日本の考古学に貢献できるものではないかと思いきや誇らしい気持ちになりました。

## ○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

## 報告第 55 号 新図書館（本館）整備に向けた令和 5 年度検討報告書について

### ○大下教育長

報告第 55 号について、説明をお願いします。

### ○宇野図書館長

報告第 55 号につきましては、新図書館（本館）整備に向けた令和 5 年度検討報告書についてです。

本来は令和 5 年度の報告ということで、令和 5 年度末に報告書が完成していなければならないのですが、新庁舎の建設候補地が新図書館（本館）整備における立地可能場所の一つの「福祉総合センター隣接地」と重複したことによる調整が生じ、報告書の作成に時間がかかり、報告が遅くなったことをお詫び申し上げます。

また、説明させていただく前に、報告書の 7 ページに誤りがございます。

南海浪切ホールの位置図ですが、オレンジ色で示している部分が、南海浪切ホールではなくカンカンベイサイドモールになっております。

南海浪切ホールは、その左側の建物になりますので、修正をお願いいたします。

令和 5 年 2 月、市制施行 100 周年を新図書館（本館）整備のキックオフの年と位置づけ、新図書館（本館）の整備に向けて取組を始めました。

令和 4 年度を取組としましては、新図書館整備キックオフシンポジウムを開催し、「岸和田市図書館のありかた」を策定いたしました。

令和 5 年度を取組として、5 月に政策決定会議の専門委員会として、「新図書館（本館）整備庁内検討委員会」を設置し、「複合施設の検討」・「立地可能場所」を中心に調査、研究を行ってきました。

そして、この度、令和 5 年度の調査、研究経過をまとめた報告書を作成しましたので、報告するものです。

報告書の内容につきましては、目次をご覧ください。

「1. 立地可能場所の抽出」「2. 各立地可能場所の検証」「3. 今後のスケジュール」「4. 議事録」そして「参考資料」という構成になっております。

1 ページをご覧ください。1 つ目の「立地可能場所の抽出」につきましては、先ほども申し上げましたが、令和 4 年度に「岸和田市図書館のありかた」を策定しまして、「ありかた」で示した 4 つの基本的な考え方を基に総合的に判断することとしています。

続いて 2 ページから 9 ページまでは、2 つ目の「各立地可能場所の検証」としまして、「ありかた」で示した 4 つの基本的な考え方を踏まえ、調査・検討し、「現在地」「福祉総合センター隣接地」「南海浪切ホール」「まなび中央公園」の 4 箇所を立地可能場所として検証させていただきました。

3 つ目の「今後のスケジュール」については、10 ページに記載しておりますが、「公共施設と民間施設との複合化の検証」、「活用できる補助金」、「新サービス（ソフト面）」等について、更に検証を深めていきたいと考えております。

4つ目の「議事録」につきましては、令和5年度に「庁内検討委員会」を2回、「作業部会」を4回開催いたしましたので、11ページから20ページには会議録と、最後に参考資料を添付しております。報告は以上です。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○谷口委員

報告書のなかの後段の公共図書館をとりまく現状の認識として、事例として紹介されている泉大津市立図書館は近くなので行ったことがあるのですが、よく報道されている情報として、図書館と飲食業のコラボ、映画館とコラボしているといった複合施設の中に図書館を組み込んで市民がよく活用していることを耳にしたことはあります。検討すべきことはあるかと思いますが、ある程度スピード感を持って進めてほしいと思います。

○宇野図書館長

現図書館は昭和50年に建築され、今年で49年目を迎えます。耐用年数が65年となっており、耐用を基準に考えますとまだ16年程度残っていますが、エレベーターがなく上下の移動に課題があることや、バリアフリー化等の課題の早い段階での解決を考えております。

○和田委員

有力候補地はどこかありますか。

○宇野図書館長

今後は、報告書に記載している立地可能場所をもとに、更に検証を深めて、立地可能場所を絞り込んでいきたいと考えております。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

では、議案の審議に移ります。

---

**議案第35号 補正予算について（事業費補正）**

○大下教育長

議案第35号について、説明をお願いします。

○柿花総務課長

議案第35号につきましては、補正予算について（事業費補正）についてです。

ご寄附をいただきましたので、令和6年第3回定例市議会に歳入・歳出補正予算を審議いただくためのものです。

このご寄附は令和6年7月16日に、春木中学校17期生の代表松本憲一様から30,566円を春木中学校の消耗品購入費のためにと頂戴したものです。

松本様からは、春木中学校卒業して50年が経過し、17期生も年齢が高くなったこともあり活動を終えることとなったため、その残余金を春木中学校の為に使っていただきたいとお申し出を受けました。

歳入歳出予算補正見積書は別紙のとおりです。歳入へ指定寄附金として31千円を計上し、

歳出で中学校管理事業の消耗品費として計上いたします。議案が通りましたら春木中学校へ追加配当させて頂く予定です。説明は以上です。

#### ○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、本件については原案の通り承認することといたします。

### 議案第 36 号 岸和田市教育委員会の点検・評価報告書について

#### ○大下教育長

議案第 36 号について、説明をお願いします。

#### ○柿花総務課長

議案第 36 号につきましては、岸和田市教育委員会の点検・評価報告書についてです。

本年 4 月の定例教育委員会会議で点検評価対象項目の承認をいただきました。令和 6 年度岸和田市教育委員会の点検・評価報告書（案）がまとまりましたので、ご審議をお願いするものです。

今年度の点検・評価の経過につきましてご説明いたします。点検評価項目 について各課で評価シートを作成しました。その後、6 月 4 日、7 月 30 日と評価委員会を開催し、学識経験者のご意見も頂戴しまして、報告書（案） をとりまとめております。

報告書（案）をご覧ください。冊子をめくっていただきまして 3 頁になりますが、こちらには評価委員会の委員による総評を記載しています。

まず、評価委員からは、今回の教育に関する事務の点検及び評価についておおむね適正であるとの評価をいただきました。その理由及び今後についての意見を続いて順にご紹介します。

1 つ目、昨年度「目標を下回る」とされた項目のうち 1 項目、具体的には生涯学習課の学び舎プログラムの実施のことになりますが、「目標通り」と評価を上げている点が評価されました。

また、学校教育課の授業の改善・読書活動の充実や体力向上の取組の推進の部分になりますが、コグトレやチャレンジテスト、小学校の体力テスト等の結果において数値向上や改善ができたことは、点検評価が有効に活用されてきたからでもあるという評価をいただきました。同時に、中学校の体力テストの結果においては課題点が見えたというご意見もいただきました。

2 つ目は、評価項目の選定についてです。16 項目を継続して点検評価する中、新たな主要な施策・事業である 2 項目、学校管理課の長寿命化計画に基づく教育環境の改善やスポーツ振興課の部活動地域移行の推進も追加されている点が評価されました。

3 つ目は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関する取組について、今年度で別で項目立てをしての掲載は最後となりますが、市民にわかりやすい形で示している点を評価いただきました。

4 つ目は、引き続き検討を続ける必要がある点ですが、成果指標について、市民にわかりやすい指標の選定について、改善の余地が残されているとのご指摘をいただきました。

最後 5 つ目は、点検評価をしました主要な施策や事業の多くが目標通り、目標を上回ると評価である点を評価いただき、そして本点検評価の結果を活かして具体的な取組として改善を重ねて効果的な教育行政を推進していことを期待することをお言葉をいただきました。

評価委員会委員による総評内容は以上でございます。

本日も承認いただきましたら、第3回定例市議会へ報告し、議会が終了した後にホームページへ掲載し、広報広聴課、山滝支所、各市民センターで閲覧していただけるように配置し、広く市民にも公表をしていきます。説明は以上です。

#### ○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

コロナで中断していた学校園への訪問を実施することができました。坂本委員長からは ICT に関してタブレットが活用されている点や中学校給食に関する評価のお言葉を頂きました。

#### ○谷口委員

評価委員からの総評を拝読させて頂き、よく見て頂いたと思います。課題点については今後も検討しながら具体的に進めていく必要があると思います。

気になったところですが、P7のあゆみファイルの活用の点ですが、本市では2,248人分を作成された事例があがっております。あゆみファイルを作成している対象が学習障害の子ども達であるとすれば、文部科学省における小中学校の学習障害の発現率が4.5%だという数値を用いると、15,000人の生徒児童の場合、約700人と算出される場所、2,248人をカバーしているということは、手厚くカバーしてくれている結果だと捉えています。これを有効に今後も次の学年、次の指導者に伝えていくことが重要だと考えます。方向性のなかで、インクルーシブ教育を推進するためにも、学びやすい環境を提供できるように努力頂きたいと思います。

#### ○松本人権教育課長

あゆみファイルにつきましては、年々活用が増えています。発達障害に限らず、医療的なケアが必要な子どもや、身体のことによって様々な配慮が必要な子どもも対象となっています。引き継ぎ、つないでいくことが大事だと考えています。あゆみファイルは人権教育課に限らず、いろいろな関係機関と連携し情報共有を行っていきたくと思います。また、先生方とは、年に1回特別支援のコーディネーター連絡会を行っており、あゆみファイルの活用について、活用事例や記載内容に関する意見交換等、交流を行っております。

#### ○野口委員

評価委員からの総評において、個々に指摘を受けている点は来年にむけて改善を図って頂きたいと思います。

個人的には、項目N01授業の改善・読書活動の充実における方向性について、7今後の課題・方向性において示されている拡充の方向はどのような内容でしょうか。また、チャレンジテストへの取組については、課題があるという評価ですので、方向性にふれておく必要があったのではと思いました。

項目N02あゆみファイルの活用について、手厚い見守りをしてくれている結果と思います。P76の評価において、コーディネーター連絡会での情報共有について評価されている点は今後の拡充につながると思いました。

項目N03産業教育の充実について、各種の資格の取得が前年実績を下回っていますが、各年度により差はあると思いますが、その点を具体的に述べる必要があったのではと思います。

項目N05生徒指導体制・教育相談体制の充実に関して、7今後の課題・方向性において、不登校対策を最重点課題とし、学校復帰にこだわらず社会的自立に向けた取組を方向性に示され

たことは、重要な視点だと感じました。

項目 N06 学校給食の運営では、食育の観点での評価が記載されている点がよかったと思います。

項目 N08 長寿命化計画に基づく教育環境の改善では、5 取組内容において各学校の棟が記載されていますが、「棟」の見方を教えてほしいです。

項目 N013 こども読書活動の推進について、5 取組内容について、令和4年に行われていた幼稚園や保育所に行われていた配本サービスがなくなった理由は何かありますか。

項目 N014 資料の収集整理について、5 取組内容において前年度に記載されていたデジタルアーカイブの掲載数が今年度は記載されていないのはなぜでしょうか。

項目 N015 部活動地域移行において、6 評価におけるアンケート結果では「満足」、「やや満足」を合わせて84%、今後の参加意向について、「したい」、「ややしたい」を合わせて76%という結果は良い結果だと思います。費用負担については年間の負担額での回答なのでしょうか。回答数が少ないので、正しく実情を反映されているか不明ですが、先生方にとって負担が減った、やや減ったという肯定的な回答が半数以上ありますが、負担がやや増えたという回答が17%とあります。何を負担と感じられているのか教えていただけますか。本市らしさを活かした部活動について希望者がいなかったという結果ですが、希望者がいなかった結果を受けて、今後、生徒に体験の機会を作ることやアスリートのお話を聞く機会を設ける等を通じて進めていくのか、本市らしさの別のスポーツを考えていくのでしょうか。

#### ○松本学校教育課長

コグトレは、令和6年度は小学校全校に拡充し、1年生からは4年生はアプリを使って実施しています。幼稚園は紙媒体で実施しております。5、6年生や中学校においてはコグトレは行っていません。チャレンジテストは総括評価に記載はしていますが、項目7の課題方向性に関する記載も検討します。

#### ○橋本産業高校学務課長

資格取得状況ですが、P9をご覧ください。一番大きく下がったのは簿記3級ですが、商業科の生徒については、2級から受験するように変更した点が影響しています。他の資格も令和5年度の3年生における取得率が例年より低かった点が影響したのではと考えています。

#### ○松下学校管理課長

長寿命化計画のなかで取り上げているのは、小学校で114棟、中学校で70棟あります。例えば「8棟」とあるのは、棟番号です。学校は全体でひとつの建物となっていますが、増築等で棟ごとに建築年数が異なります。棟に附番した番号で管理し改修工事を進めていきます。

#### ○宇野図書館長

幼稚園、保育所には年3回配本しています。小学校には12校になりますが1ヶ月1度配本しています。今年も継続していますがシートには記載していません。シートに記載している小学校10校へ図書の配送は移動図書館のことで、配本は継続していますが、記載を省略したことによります。

デジタルアーカイブにつきましては、学校の先生の協力が必要な内容でもあり、令和5年度は新たに増えていないため、記載しておりません。

#### ○河内スポーツ振興課長

本市らしさを活かした部活動については、本年度の実施の予定はありません。今年度は既存の部活動の地域移行を中心に進めていきます。負担額は毎月の額について保護者にお尋ねしたものです。教員の負担につきましては、指導者との連携や市教委との情報交換等に関することです。

#### ○大下教育長

教員が外部指導員とともに指導についている状況がみられ、勤務が続いている状況です。外部指導員との意見調整や子ども達に関する状況の共有等の事務が増えたことが推察されます。いずれ教員には部活動から手を放してもらわないといけないのですが、過渡期ですので、やや増えたという評価があったと理解しています。

#### ○野口委員

事業費の予算は、事業が実施できなかったということで、令和5年度の決算が落ちていますが、令和6年度の予算は令和5年度より少し増えています。これは本市らしさを活かした部活動の実施ではないところに予算を使うことになるのでしょうか。

#### ○河内スポーツ振興課長

令和6年度は既存の部活動の地域移行として、2校の5つの部活動において実証事業する予定です。

昨年度は、既存の部活動の地域移行と本市らしさを活かした部活動の両方で取り組みましたが、今年度は既存の部活動の地域移行にのみ実施する予定です。

#### ○野口委員

前年度の決算より、10倍の予算が措置されていますが、予算の執行状況は進んでいるのでしょうか。

#### ○河内スポーツ振興課長

9月より12月にかけて、実証事業をするための準備を進めているところです。

#### ○大下教育長

昨年度より、部活動の種目が大幅に増えるわけではないが、実施期間も長くなるため、必要な予算額が増えたという理解でよろしいですか。

#### ○河内スポーツ振興課長

はい。ただ、予算額は増えておりますが、大阪府から交付される委託金の範囲内で事業を実施する必要があることから、予算額と決算額に差が生じる見込みです。

#### ○和田委員

目標を下回る評価を受けた項目が3つあったようですが、とくに項目N05 生徒指導体制・教育相談体制の充実が気になるようです。機会あるごとに議題にあがると思いますが、目標通りになるように力を入れて進めていけたらという考えです。

#### ○大下教育長

評価委員会からの意見として、いじめについては年々増えている状況ですが、一方で解消率が非常に高い点は評価を頂きました。

不登校については、今年度の最重点の取組として掲げています。民間の機関とも連携しながら対策を進めていく予定です。

暴力行為はおおもとにある子どもたちの人権意識を高める必要があり、人権教育をさらに各

場面で強化していくことで改善に努めたいと考えています。

○谷口委員

P43 に記載されている傍聴者の人数に関する資料ですが、教科書採択の際は多いが、他の会議ではほぼいない状況なので、市民の方に、会議を知ってもらう機会として、気軽に来てもらえるように、情報の発信や手法を検討して頂きたいと思います。

○柿花総務課長

ホームページで会議の開催案内を新着で上げていますが、その他の方法も検討したいと思います。

○大下教育長

ご意見頂いた内容は次年度以降に反映させていきたいと考えます。

他にいかがでしょうか。ないようですので、本件については原案の通り承認することといたします。

**議案第 37 号 岸和田市立屋内プール整備基本構想（案）について**

（非公開議案について審議され、承認された。）

○大下教育長

以上で全ての案件が終了しましたが、他に何かございませんか。

ないようですので、これもちまして本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後 4 時 25 分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

教育長

署名委員